

- 皆さまの益々のご長寿とご健康を願って
- 自宅療養者支援～お元気になりますように～ ……1ページ
- 実習を通して学んだソーシャルワーカーの在り方について
- 緑のカーテン日記 ……2ページ
- 進化する人材育成センターの研修
- 万が一の際、救命処置や応急手当ができます ……3ページ
- おしらせ
- リレーコラム・編集後記 ……4ページ

公益財団法人武蔵野市福祉公社

武蔵野市福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を示したものです。

敬老の日

皆さまの益々のご長寿とご健康を願って

9月20日（月）ピアニストのやすみたかしさんとジャズシンガーの濱田麗さんをオンラインでお招きして敬老会を開催しました。本格的なジャズライブの素敵なピアノ演奏や歌声を聞いて、「ジャズはよく聞きに行ったな」「知っている曲だわ」など思い出のエピソードをご利用者がやすみさんと語り合い、癒されるひと時を過ごしました。昼食のお祝い御膳には「こんなご馳走は初めて」とうれしい感想が聞かれました。スタッフによる出し物の安来節ではご利用者と一緒に理事長もドジョウすくいを披露しました。（デイサービスセンター 本橋）



◀ オンラインでのジャズライブ。昔の思い出を語りつつ、素敵な音楽を堪能しました。

▼ 青の半被を纏い、ドジョウすくいを披露するご利用者（左）と森安理事長（右）。



「自宅療養者支援」

～お元気になりますように～

9月より新型コロナウイルスに感染した自宅療養者への支援事業を武蔵野市より受託しました。自宅療養中の方の不安が少しでも軽減できるように療養中に必要な食料品や日用品などを手作りのメッセージカードを添えてお届けしています。

直接手渡すことは出来ませんが、

インターホン越しに声を聞くことができれば私たちもほっとする瞬間です。『一日も早くお元気になられますように！』という願いを込めてこれからも武蔵野市内どこでもお届けいたします。（ホームヘルプセンター 坂本）

この度は 謹んで
お見舞い申し上げます。
一日も早くお元気になりますように
お祈り申し上げます。

武蔵野市福祉公社
ホームヘルプセンター 武蔵野



イラスト：ホームヘルプセンター職員作成

▲ホームヘルプセンター職員作成のイラストと、直筆のメッセージ。気持ちを込めたカードを添えました。

実習を通して学んだ ソーシャルワーカーの 在り方について

執筆 日本大学実習生
荒田 麻耶さん



▲ 荒田さん（中央）と、権利擁護センターの職員。

今回、ソーシャルワーク実習を受け入れて頂き、最も学びに繋がったことは、私が抱いていたソーシャルワーカー（以下SW）のイメージと実際の業務とのギャップが大きかったことです。

SWはどこまでご利用者に介入するのか、介入するタイミングはいつなのか、SWの業務内容で行える支援の限界はどこなのか等、実習を行う中で疑問がわいてきました。例えば、支援を必要とされるご利用者を前に、どのような手法で対応するかの模範解答がないという点です。困りごとは似ていても、実際には育った環境や置かれている状況が異なるため、ご利用者の求める生活は千差万別ということも知りました。

また支援をしていく中で、SWをはじめ支援者にはそれぞれのご利用者との関わりを持つ方法や条件に一定のルールが存在します。そのためSWが支援を継続したいと考えても、利用する制度によっては他の支援者へ引継ぎが必要な場合も

あり、SWの中でもジレンマが生じやすいことやご利用者本人の持っている力を活かしソーシャルワークを行っていくSWの力量が試されることを学びました。

将来、私がSWとして支援者になった時には、SW主体ではなくご利用者本人の気持ちを確認しながら伴走型の支援を行うこと、時には、「どのタイミングで」「どのように伝えるか」ということを考え、ご利用者と今の状況を解きほぐし今後の生活を一緒に考えていけるようになりたいと思います。そのためには、目の前にある課題だけに目を奪われないよう、ご利用者本人をしっかり見て、よく知るということを心がけて支援を行いたいと思います。

◇武蔵野市福祉公社では例年、福祉の人材育成の一環として、若干名の社会福祉士養成課程における相談援助実習を行う実習生を受け入れております。



▲ 荒田さんを励ます職員。真剣に取り組む姿はワーカーさながら。



▲ 外出が困難な利用者さまのご希望で、手作りした造花アレンジメントをお届けしました。

今年の夏を振り返る！



緑のカーテン日記 ▶



今夏も武蔵野市のむさしのエコre(リ)ゾートからゴーヤを頂き、園芸ボランティアの皆さんで6月14日から中庭に植え付けました。南向きの窓から入る夏の日差しを和らげるため、室内カーテンだけでなくゴーヤのカーテンに今年もチャレンジしました。7月の連休明けには、ますます成長し、花が付きました。雄花が多く…なかなか雌花が付きませんでした。7月28日に初めての収穫が出来ました。とても可愛いサイズのゴーヤでした。北町の昼食でご利用者の皆さんにも取れたてのゴーヤが並び召し上がっていただきました。（北町高齢者センター 鈴木美）

◇むさしのエコreゾート

クリーンセンター内の環境啓発施設。地球温暖化を背景に、市民や市民団体、事業者、関係機関、市などの多くの主体が参加して、ごみをはじめさまざまな環境について一緒に考え、学びあい、行動・活動するための施設。



進化する 人材育成センターの研修

地域包括ケア人材育成センターが昨年
年から取り組んでいる「オンライン研
修」は、講義を録画・編集して後日オ
ンラインで限定配信するという形式で
した。そして今回、新たにライブ配信
を取り入れた研修に初挑戦しました。

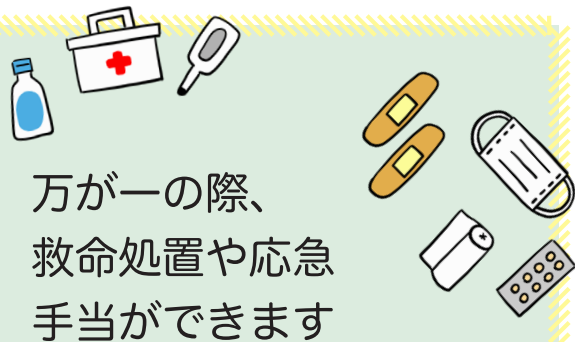
8月の管理者向け研修ではオンライ
ンミーティングツールを使用し、会場
とオンラインでのグループワークを同
時進行で開催しました。これまで「オ
ンライン受講では双方に意見交換がで
きない」という指摘がありましたが、
今回の手法によりオンライン上での積
極的な意見交換が実現したのです。オ

ンライン受講の方々からは「やりやす
かった」「もっと話したい」「また開催
してほしい」など好評のコメントを頂
きました。

研修内容に沿った適切な手法を活用
し、より多くの方に研修の機会を提
供できるよう、センターの研修は今後も
進化し続けます。(人材育成センター
糸谷)



▲管理者向け研修「管理者のためのアンガーマネジメント」会場風景（武蔵野プレイステにて）：会場参加者とオンライン参加者それぞれの姿が見えるようカメラ・モニタを設置。オンラインチャットでコメントのやりとりもありません。



万が一の際、 救命処置や応急 手当ができます

福祉公社では、職員全員が上級救命講習を受講し、目の前で誰かが倒れたときなど、命に関わる緊急事態の場に遭遇した際に、救命活動ができるよう、AEDの安全な使い方などを学んでいます。令和3年度は、7月から8月の間に延べ60名の職員が受講しました。コロナ禍ですので、高齢者総合センター5階ホールの広い会場を準備し、密にならないよう1回の参加者を15名程度とするなどの工夫をした中での開催となりました。

昨年度、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、消防署での上級救命講習の中止や、受講人数の制限等で、更新講習を受講出来なかった職員、初めて受講した職員14名も含め、予定していた職員は、無事に講習を修了しました。(総務課 中村)

おしえて！
セラピスト！

歩行を助ける用具②

「ロフトランド杖」

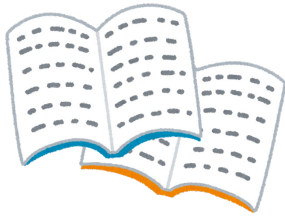
「T字杖」はグリップを握り、手のひらで体重を支えますが、「ロフトランド杖」はグリップに加え、前腕にあるカフといわれる部分でも体重を支えます。T字杖より体重を杖に預けることができます。グリップは尺骨茎状突起※を基準に、カフは肘にかからず手首に近すぎない長さに調整します。スマートな外観から、このロフトランド杖を使いたいとご希望される方も多いですが、使用には練習が必要です。歩く際は、杖に体重を預けて進み、杖先が地面や段差にかからないよう杖を出します。財布を出すなど、手を使う際には、カフを前腕から外す必要があります。当センターでは販売はしていませんが、長さを合わせたり、使い方のご相談を承っています。まずは、お気軽にお問い合わせください。(住宅改修・福祉用具相談支援センター 原)



※尺骨茎状突起



おいじたく講座



- 成年後見制度について
- 【10月25日(月)】
10時00分～11時30分
@高齢者総合センター4階研修室
- 【11月12日(金)】
13時30分～15時00分
@福祉公社1階会議室

法律相談(成年後見関連)

毎月第2火曜日
(次回は11月9日 午後/予約制です)

法律相談(高齢者にかかる一般法律相談)

毎月第4水曜日
(次回は10月27日 午後/予約制です)

【問合せ・申込み】 権利擁護センター ☎ 0422-27-5070

家族介護教室 みどりの輪「みんなで話そう 認知症」

日時 令和3年10月22日(金) 13時30分～15時00分(13時00分受付開始)
場所 高齢者総合センター 3階講義室
講師 菅朋江氏(公益財団法人認知症予防財団)
定員 15名



【お問い合わせ・申し込み】 高齢者総合センター 在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974

職員リレーコラム おみやげ

ホームヘルプセンター 吉田理恵子




私には二人の子どもがおり、バタバタと毎日が猛スピードで過ぎていきます。そんな毎日ですが、時々私へのご褒美があります。それは子供達が持ち帰るおみやげです。学校や保育園で作ってきた製作物だったり、泥だらけの体操着だったりします。下の子に至っては花びらやどんぐりなど、季節を感じるものがいっぱいです。今年の夏はカブトムシの角を持ち帰りとても驚きました。「ただいま」の声の後に誇らしげな顔をして渡してくれます。その顔を見ると

どんな疲れも吹き飛んでしまいます。

思い出すのは幼い頃、出張で出掛けた父を迎えに行くのが楽しみでした。おみやげ目当てだったりもしましたが、「おみやげだよ」と照れ臭そうな顔で私の迎えを喜ぶ父を見て私も嬉しかったのです。

今の状況が落ち着いたらおみやげを持って実家に帰りたいな、とノスタルジックな気分で子供達の待つ家に自転車を走らせ帰ります。

今回は  デイサービスセンター 田島雅子

福祉公社 各部署のご案内



武蔵野市福祉公社 本部

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

- 総務課 ☎ 0422-23-1165
- 権利擁護センター ☎ 0422-27-5070
- 成年後見利用支援センター ☎ 0422-27-1238
- 生活自立支援センター(三鷹サテライト) ☎ 0422-66-2801
- ケアプランセンター ☎ 0422-27-5076
- ホームヘルプセンター武蔵野 ☎ 0422-23-2611
- 地域包括ケア人材育成センター ☎ 0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター 武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

- コミュニティケアサロン ☎ 0422-54-5300
- 子育てひろば・みずきっこ ☎ 0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター 武蔵野市緑町2-4-1

- 管理・社会活動センター ☎ 0422-51-1975
- 在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974
- 住宅改修・福祉用具相談支援センター ☎ 0422-51-1974
- デイサービスセンター ☎ 0422-51-2933

広報委員会 編集後記

コロナ禍で迎える2年目の夏が過ぎ、東京オリンピック・パラリンピックも終わりました。2013年に開催が決定し、8年。「お・も・て・な・し」の日本の心はいつまでも大事に、変わらず世界に届けていきたいものです。羅針盤も読んでくださる皆様を大切に、丁寧に、そして秋風のように爽やかに、公社の心を地域にお届けしてまいります。(在宅介護・地域包括支援センター 加藤)

<ホームページ>

◇ 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikoshi.jp>

◇ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター <https://www.m-machigurumi.jp>

◇ ホームヘルプセンター武蔵野 <https://help-musashino.jp>

営業時間 8時30分から17時15分(すべて共通)